

科目名	知的生産技法				
授業形態	講義	学年	1		
開講時期	2021年度 前期	単位数	2		
担当教員	宗像 和則				
内容および計画	<p>「人間の知的活動が、なにか新しい情報などの生産にむけられているか…」がテーマです。情報の受・発信が高度化しさらに簡易化した今日、“あなた”は自分の頭をはたらかせて、なにか新しいことがら（役に立つ情報やものなど）をひとにわかるかたちで提出（あるいは提案）していますか。氾濫する情報や混沌とする現実のなかから、そこに内在する問題を見つけ出し、改良・改善にむけた価値ある提案を創造する能力を身につけてください。経営企画、広告、プロダクトデザイン、グラフィックデザイン、まちづくり、建築、景観、地域の産業などに関して、日頃から疑問に感じている具体的な問題点を発見するため、新聞等のメディアや参考文献、インターネットや現地調査等から必要な情報を収集し、整理、分析、そして改善にむけた提案の技法を学びます。講義前半は実例紹介、後半はグループワークによる実習形式で、実際の課題解決のために情報収集、整理、分析、改善案の作成を学んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前半：“知的生産とは何か？” 解説とそのための技法の技術理解と演習 ・後半：“会津のまちづくり”を題材に、プロダクト、グラフィック、環境デザインおよび地域産業や都市政策立案のための情報収集から改善案作成までの演習 				
1	知的生産とは何か？知的生産と情報、知的生産のプロセスについて				
2	発想するための技術の解説と実習				
3	自分の考えをまとめるための技術の解説と実習				
4	情報収集の手法と実際				
5	情報の整理、分析の手法とその実習				
6	サーベイのまとめ方、課題の整理方法と実習				
7	グループ発表				
8	講評				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
教科書なし。 適宜、資料を配布します。					
参考書	1) 梅棹忠夫 『知的生産の技術』 岩波新書 F93 1969 2) 加藤昌治 『考具』 株式会社ティビーエス・ブリタニカ 2003 3) フレドリック・ヘレーン『スウェーデン式アイディアブック』ダイヤモンド社 2005 4) 佐藤オオキ 『問題解決ラボ』ダイヤモンド社 2015 5) 増田明子 『MUJI 式 世界で愛されるマーケティング』日経 BP 社 2016				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
出席					20

課題のレポート	40
グループ発表とその成果品	40
学習到達目標	
先修条件	
実務経験	実務経験あり：◆安積開拓入植者の家・移築復元（郡山・開誠館）◆郡山市 文学の森資料館（作家 久米正雄邸 鎌倉から移築）◆らーめん工房 味噌屋（郡山・熱海）◆こぎと館（郡山 谷田川・古民家再生）◆だ いこん畑の保育園（郡山・久留米）◆河京・猪苗代 ラーメンビュッフェ館（空きビル改修プロジェクト）◆ 池田記念病院（須賀川）病棟増築+メディカル フィットネスクラブ（疾病予防運動施設・IBEX◆柳橋歌舞 伎・総合プロデューサー（～2015）◆郡山駅前コミュニティ道路（フロンティア通り）◆郡山 市街地路地 整備事業：『表参道』・『代官小路』・『陣屋通り』◆なかまち夢通り・モール化事業 等
その他	